

農業機械の共同利用から一歩ずつ

【類 型】 農業機械の共同利用

【組 織 名】都積営農組合(令和5年9月設立)

【所 在】高知県高知市土佐山都積

【農業地域類型】中山間農業地域

【構成戸数・人数】9戸・9人

【経営規模】

現在、実績はない



設立総会(令和5年)

設立の経緯

- 令和4年に「倉庫を建てたい」など、都積地区の住民からの意向があり、集落営農組織化を検討することになった。
- 令和4年8月から集落営農の話し合いを行う。
- 都積集落協定営農受託部会(チッパーシュレッダーの作業受託組織)を母体に、集落営農に取り組むことが合意され、設立した。

取組の特徴・効果

- 農業機械(チッパーシュレッダー2台)の共同利用によるコスト低減や農作業の受委託、地域活性化を図ることなどを目的としている。

【具体的な取組内容】



設立に向けての座談会



活動の一環であるユズの勉強会

【主な機械・施設】

- チッパーシュレッダー 2台



チッパーシュレッダーによる粉砕

【課題・今後の取組】

- 現状、農業機械(チッパーシュレッダー)の共同利用にとどまっている。ただ、将来的には、他の作業やユズの共同防除なども視野に入れ、検討している。
- 平成24年に都積集落のビジョンを作成しているが、10年以上経過していることもあり、ビジョンの改訂に取り組む。
- 都積集落は高知市土佐山地区においても比較的若手後継者が就農している。組合員だけでなく、若手後継者も含めて地域の活性化を目指している。